【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【公表番号】特表2002-531683(P2002-531683A)
【公表日】平成14年9月24日(2002.9.24)
【出願番号】特願2000-586852(P2000-586852)
【国際特許分類】
Ｃ１０Ｇ　61/02　(2006.01)
Ｃ１０Ｇ　35/085　(2006.01)
Ｃ１０Ｇ　35/095　(2006.01)
Ｃ１０Ｇ　61/04　(2006.01)
Ｃ１０Ｇ　61/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１０Ｇ　61/02
Ｃ１０Ｇ　35/085
Ｃ１０Ｇ　35/095
Ｃ１０Ｇ　61/04
Ｃ１０Ｇ　61/06

【手続補正書】
【提出日】平成17年11月30日(2005.11.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　炭化水素の脱水素環化方法であり、
(a) ０．１～２０．０重量％のジメチルブタンを含有する未加工のパラフィンに富む原料炭化水素を反応ゾーンにおいて高選択性脱水素環化触媒と脱水素環化反応条件下に接触させてパラフィンを芳香族に転化して芳香族に富む流出液を得る、
(b) 流出液から芳香族を分離して芳香族に乏しいラフィネートを得る、
(c) 工程(a) の芳香族に富む流出液から、又は、工程(b) の芳香族に乏しいラフィネートから、ジメチルブタンを除去する、および、
(d) 低濃度のジメチルブタンの前記ラフィネートを反応ゾーンへ再循環させる、
工程を包含し、しかも、前記高選択性脱水素環化触媒は、脱水素環化反応条件下でのｎ－ヘキサンの芳香族への転化において、一回通過（再循環転化を除く）基準で、ｎ－ヘキサンの芳香族への転化につき少なくとも４０重量％、の芳香族の選択性を結果としてもたらす触媒である、炭化水素の脱水素環化方法。
【請求項２】　該触媒は一次元結晶性アルミノケイ酸塩上のＶＩＩＩ族金属を含む請求項１に記載の方法。
【請求項３】　該アルミノケイ酸塩はゼオライトＬであり、そしてＶＩＩＩ族金属は白金である請求項２に記載の方法。
【請求項４】　前記芳香族はラフィネートから溶媒抽出、蒸留、または分子ふるい抽出により分離される請求項１に記載の方法。